



# 2024年度 決算説明会

エーザイ株式会社  
2025年5月15日

# 2024年度 連結業績 (IFRS)

レケンビへの資源投入を継続しつつ増収増益を達成  
売上・利益ともに通期見通しを上回る

| (億円、%)             | 2023年度     |       | 2024年度     |       |     | 為替の<br>影響額 |
|--------------------|------------|-------|------------|-------|-----|------------|
|                    | 実績         | 売上比   | 実績         | 売上比   | 前期比 |            |
| 売上収益               | 7,418      | 100.0 | 7,894      | 100.0 | 106 | 259        |
| 医薬品事業 売上収益         | 6,915      | 93.2  | 7,490      | 94.9  | 108 | 245        |
| その他事業 売上収益         | 503        | 6.8   | 404        | 5.1   | 80  |            |
| 売上原価               | 1,553      | 20.9  | 1,688      | 21.4  | 109 |            |
| 売上総利益              | 5,864      | 79.1  | 6,206      | 78.6  | 106 | 236        |
| 研究開発費              | 1,690      | 22.8  | 1,716      | 21.7  | 102 | 57         |
| パートナー負担額を加味した研究開発費 | 2,304      | 31.1  | 2,166      | 27.4  | 94  |            |
| 販売管理費              | 3,744      | 50.5  | 4,080      | 51.7  | 109 | 179        |
| レンビマ利益折半費用         | 1,416      | 19.1  | 1,542      | 19.5  | 109 |            |
| その他の損益             | 104        | 1.4   | 134        | 1.7   | 128 |            |
| 費用合計*1             | 5,330      | 71.9  | 5,662      | 71.7  | 106 | 228        |
| 営業利益               | 534        | 7.2   | 544        | 6.9   | 102 | 7          |
| 当期利益               | 438        | 5.9   | 481        | 6.1   | 110 |            |
| 当期利益(親会社所有者帰属)     | 424        | 5.7   | 464        | 5.9   | 109 |            |
| ROE (%)            | 5.1        |       | 5.4        |       |     |            |
|                    | 2024年3月末実績 |       | 2025年3月末実績 |       |     |            |
| Net DER*2(倍)       | -0.19      |       | -0.12      |       |     |            |
| 親会社所有者帰属持分比率(%)    | 62.8       |       | 60.7       |       |     |            |

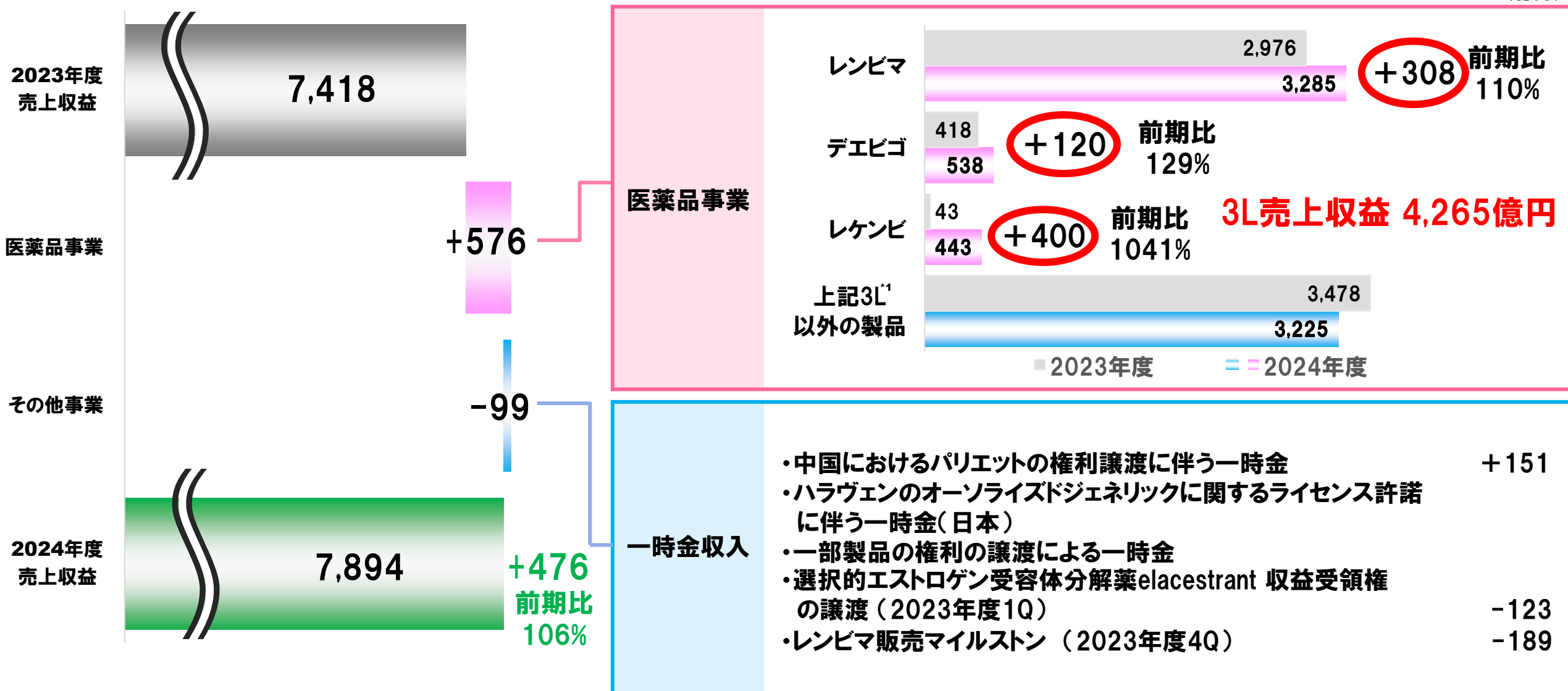
2024年度期中平均レート 米ドル:152.57円(前期変動率+5.5%)、ユーロ:163.74円(同+4.4%)、英ポンド:194.61円(同+7.1%)、人民元:21.10(同+4.8%)

\*1 研究開発費+販売管理費-その他の損益

\*2 Net Debt Equity Ratio=(有利子負債(借入金)-現金及び現金同等物-3ヵ月超預金等-親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

## 3L: LENVIMA、DAYVIGO(Lemborexant)、LEQEMBIの成長は前期比124% 医薬品事業拡大を大きくけん引し増収に貢献

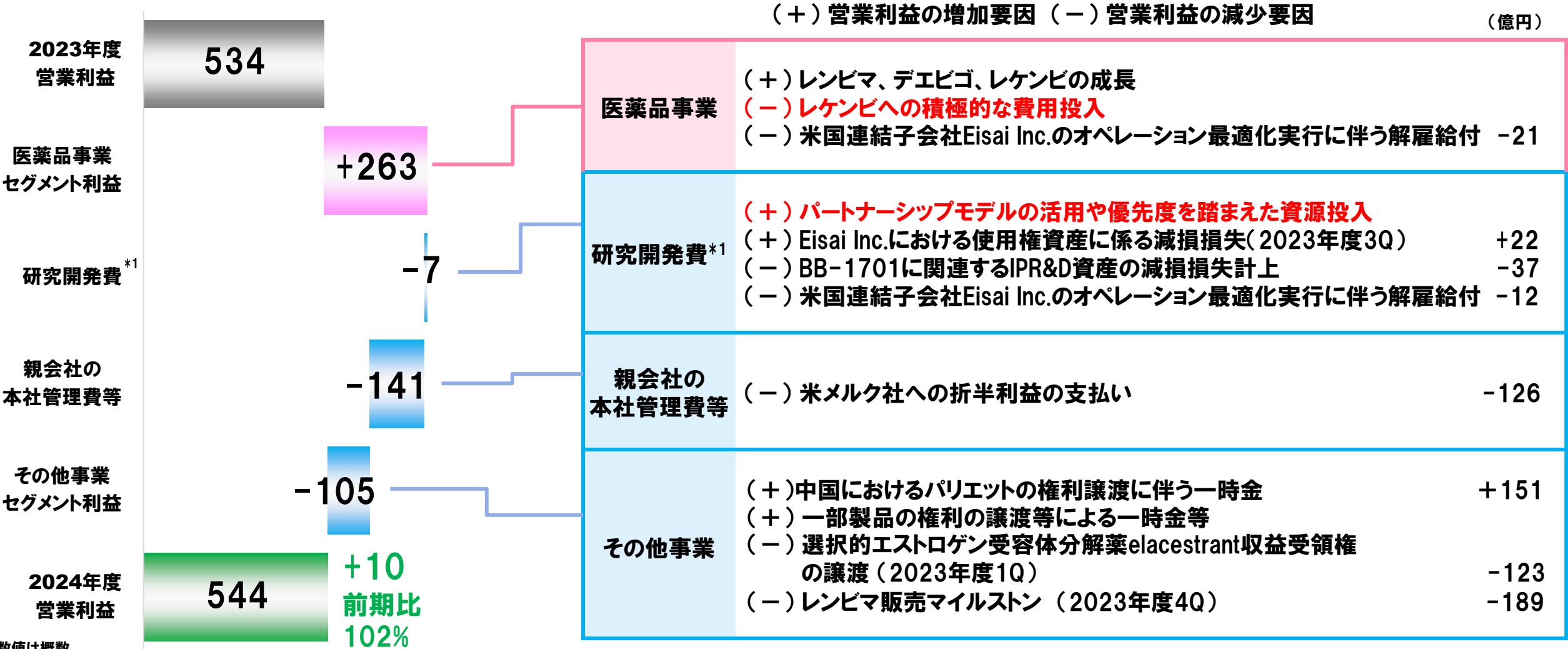
(億円)



\*1 ヒュミラは、2023年6月にアツヴィ合同会社との日本での開発および販売契約満了

# 営業利益の増減要因分析

積極的なレケンビ資源投入と費用の効率化を実施  
構造改革費用を吸収して増益を確保



数値は概数  
2024年度より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映している。前年度のセグメント情報は、当該変更を反映している。  
<sup>\*1</sup> 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費

3

# Life-long Runner のレケンビ投与の患者様が ボストンマラソンに継続参加



レカネマブの臨床試験に参加後、2週に1回のレケンビ治療を10年間継続している患者様が2025年4月21日のボストンマラソンに参加し、TVインタビューを受けた（青いユニフォーム着用の男性）

**この患者様の経験はレケンビ治療を受けている全ての患者様に該当するわけではありません**

# レケンビ グローバル レギュラトリーアップデート

## IV 10mg/kg, biweekly 44カ国で承認、12カ国で申請中

|        |      |      |       |         |             |         |
|--------|------|------|-------|---------|-------------|---------|
| 米国     | 日本   | 中国   | 韓国    | UAE     | 香港          | イスラエル   |
| 英国     | メキシコ | マカオ  | オマーン  | 台湾      | 欧州 (30カ国) * | カタール    |
| シンガポール | カナダ  | スイス  | ブラジル  | サウジアラビア | インド         | 南アフリカ   |
| フィリピン  | タイ   | ベトナム | マレーシア | インドネシア  | クウェート       | 赤:承認取得国 |

世界44カ国で承認を有する真のGlobal Drugへと成長

# レケンビ 欧州承認

## 欧州委員会\*1より、欧州\*2における販売承認を取得(4月15日)

- 欧州において販売承認を取得したADの根本原因を標的とする初めての治療薬
- 欧州当局によるRisk Benefitの審査を踏まえて承認\*3
- 世界の主要Region(米日中欧)において承認取得を達成
- 欧州における承認取得は、現在申請中の各国の規制当局に対して好影響があると期待
- ドイツとオーストリアで2025年度下期中の上市をめざす

\*1 European Commission \*2 EU加盟国(27カ国)およびEuropean Economic Area (EEA:アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー)、欧州委員会(EC)での販売承認はすべてのEU加盟国とEEAで有効

\*3 SMPC, 4.1 Therapeutic indications: アミロイド病理が確認されたApoE ε 4が非保有またはヘテロ接合体である成人における、ADによる軽度認知障害および軽度認知症(早期AD)の治療

# グローバル レケンビ 2024年度売上実績

年度売上見通し425億円を上回る443億円を達成

(億円)

500

450

400

350

300

250

200

150

100

50

0

■ アメリカス ■ 日本 ■ 中国 ■ その他

43億円

4

38

2023年度

1041%

3642%

680%

443億円

7

47

127

261

2024年度

# レケンビの成長軌道

## パスウェイ構築期

- 0⇒1の診断・治療パスウェイ構築
- AD診断・治療の流れを造る:  
認知機能検査、ApoE検査、  
Aβ検査、投薬、ARIAモニタリング  
などの整備とその保険償還の実現
- 医療スタッフの配備と教育
- レケンビの市場導入:  
有効性、安全性の説明

## デマンド喚起期

- パスウェイ各ステップにおいて一定の数の患者様を受け入れられるキャパシティを確立
- 早期ADの患者様のパスウェイ導入を促進
- レケンビの有効性・安全性の確立、  
Humanized Messageの伝播
- 専門医によるレケンビRWD\*1の  
集積・学会発表

## デマンド拡大期

- PCP\*2 -Neurologist連携ネットワークの確立:  
PCPによる検査・治療の分担、Neurologist  
への紹介時間の短縮、初期導入施設とフォロー  
アップ施設の診療連携構築
- 疾患啓発キャンペーン(DTC\*3)による需要拡大
- パスウェイの軽量化が進み導入患者様がさらに  
増大:  
デジタル認知機能検査の実装  
BBM\*4確定診断の普及  
SC-AI\*5 承認  
AI\*6によるMRI読影支援
- レケンビRWDの拡大・加速

2025年度

欧州 アジア

中国

米国

日本

2026年度

欧州 アジア

中国

米国

日本

# 米国 レケンビ

## 2025年度 デマンド喚起の促進

### アプローチ

- レケンビが持つコアエビデンスの徹底
- **Clinical data**: 低タウ集団、長期投与(36カ月)、**Gap Period, IV 維持用量**(投与量半量)における有効性のさらなる伝達
- **Humanized Message**: 患者様、ご家族への説明に際し、日常生活においてどのような改善が期待できるかわかりやすく説明する
- **IV 維持療法承認による初期投与患者数増加**
- **BBM<sup>\*1</sup> IVD<sup>\*2</sup>:承認**
- **SC-AI<sup>\*3</sup>維持療法:承認(8月)・上市**
- **4年間の長期投与エビデンス(AAIC<sup>\*4</sup>, CTAD<sup>\*5</sup>)**
- **Targeted DTC<sup>\*6</sup>の開始**
- **PCP<sup>\*7</sup>への働きかけ**

レケンビのコアエビデンス、  
**Humanized Message**  
の継続的な伝達

**National  
Educational  
Event**

レケンビ価値・  
治療意義の浸透

**IV 維持療法承認による長期投与での有用性の確認**  
18カ月後の投薬の簡素化

**初期投与  
患者数増加**

**BBM IVD 承認**  
**BBM クリニカルガイドライン**  
(Alzheimer's Association)

**BBM  
Confirmatory  
Testing**

**Aβ検査の  
軽量化・一般化**

**SC-AI 360mg**  
**維持療法 承認**  
**PDUFA<sup>\*8</sup> 8月31日**

**SC-AI 500mg**  
**初期投与 申請**

**SC-AI  
承認**

**Infusionに  
依拠しない投薬**

**リアルワールドエビデンス**  
**ADPD<sup>\*9</sup>, AAN<sup>\*10</sup>**

**4-years OLE**  
**AAIC, CTAD**

**長期投与・  
リアルワールド  
の重要性確認**

**Targeted DTCの開始**  
**PCPへのField活動開始**

**パスウェイ  
短縮と効率化**

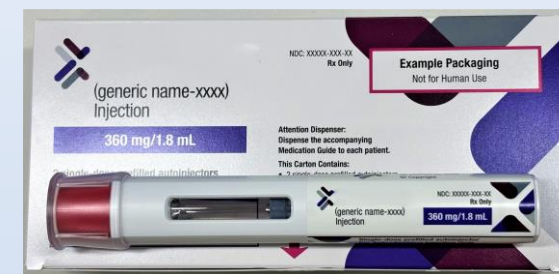
# レケンビ価値増大、新剤形・投与方法

## 1. IV-Maintenance 投与（18カ月投与後、4週1回投与可能）米国:2025年1月承認

- 4週に1回 IV維持投与により、疾患の進行を遅らせ、治療効果を唯一持続させることが可能
- IV維持投与による長期ベネフィットがレケンビの臨床的価値を再認識させ、IV初期投与が増大
- 通院の手間とInfusionに関わる人手と費用の低減へ貢献
- イスラエル、英国、香港、韓国において申請中、日本、中国において当局相談中

## 2. SC-AI<sup>\*1</sup> Maintenance 投与 米国:PDUFA<sup>\*2</sup> 2025年8月31日

- 在所・在宅で自己注射あるいは介護者による投与を可能とし通院回数を最小化
- 投与時間は平均15秒に短縮、医療従事者の点滴業務が不要
- 安全性でも、最も頻度の高い有害事象であるInfusion reactionの発現が少なく、投与時の負担を軽減
- 簡便なSC-AI登場により、長期継続投与のハードルが低下し、IV初期投与が増大



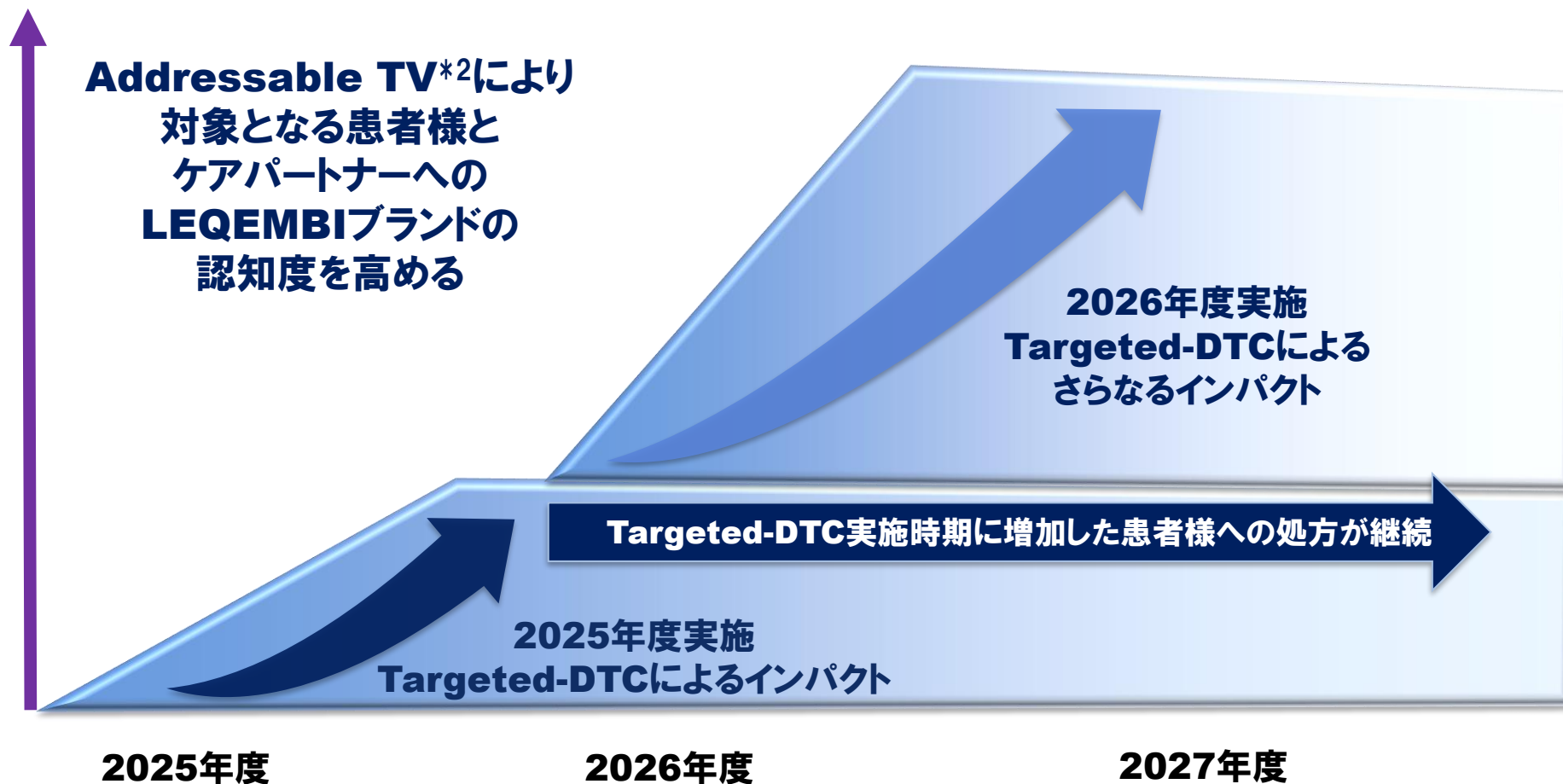
SC-AI ペン型オートインジェクター

## 3. SC-AI Initiation 投与 米国:2025年度～2026年度1Q承認取得予定

- 初回投与よりの全投与を、在所・在宅で自己注射を可能とするSC-AIによりカバーすることで、パスウェイは大幅に短縮、軽減され、AD診断・治療の一般化、普遍化に大きく前進
- 治療パスウェイが軽量化し、PCP<sup>\*3</sup>参画に向け大きく寄与
- 日本、中国において申請準備中

**SC-AI はレケンビ治療におけるゲームチェンジャーとなる**

# 米国 Targeted-DTC<sup>\*1</sup>による長期的な処方拡大のインパクト

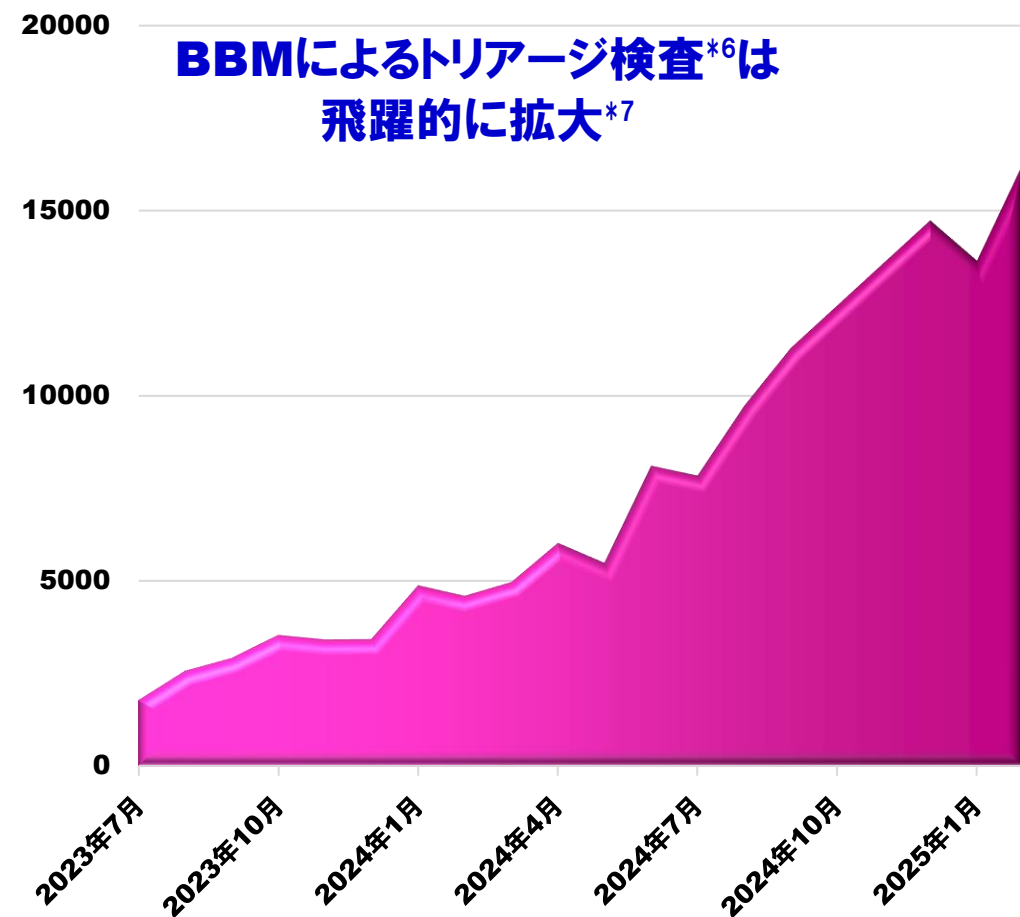


**Targeted-DTCにより、早期ADと診断された患者様へ選択的にTV-CMを実施することで、  
レケンビ治療の有用性の理解を促し  
レケンビ治療を選択される患者様の増加と、長期にわたる治療継続を見込む**

# 米国 BBM 確定診断の実装

## BBM<sup>\*1</sup>確定診断に向けた重要なステップ

1. 確定診断としてIVD<sup>\*2</sup>承認を取得、CMS<sup>\*3</sup>からの保険償還取得  
CSF/PETの代替としてBBMが使用可能
2. US Alzheimer's Association より BBM検査に関する  
クリニカルガイドライン発行 (AAIC2025<sup>\*4</sup>)
3. Aβ確定診断としての社会実装・普及
4. PCP<sup>\*5</sup>による診断パスウェイへの本格参入
5. KOLと連携し、BBMのエビデンス構築、確定診断への啓発を促進



\*1 Blood-based biomarker, \*2 In Vitro Diagnosis \*3 Centers for Medicare & Medicaid Services \*4 AAIC 2025, July 27-31, 2025, Toronto, Canada \*5 Primary Care Physician \*6 侵襲性の高いCSF検査や高価なPET検査の実施を最小限にする目的で実施する予備検査の結果が陰性であれば、Aβ凝集のクライテリアが陰性である可能性が高く、ADの最終的な確定診断には進まない。陽性であれば、ADとして確定診断するために、CSFやPETによる診断が実施される  
\*7 Source: Quest Diagnostics and Lab Corp.

# 米国 PCP<sup>\*1</sup>へのアプローチ

現状、MCI患者様の80%はPCPが診療しているが半数以上はMCIと診断されていない<sup>\*2</sup>

## 2025年度 NAS<sup>\*3</sup>によるPCP訪問を開始

- ・ ハイポテンシャル PCP 2,000人以上を新規ターゲットとし、NASによる直接訪問を1Qより開始し、PCPによる、検査・専門医紹介を促進
- ・ BBM<sup>\*4</sup>のIVD<sup>\*5</sup>承認・保険償還と連動し、AD診断・診療パスウェイにおけるPCPの役割を拡大
- ・ 下期にはターゲットPCP数を拡大し、専門医とのネットワーク化をめざす

## PCP-専門医 医療連携構築に着手

PCPによる MCI/軽度AD患者様の特定、専門医紹介の迅速化、  
BBMによる診断、SC-AI<sup>\*6</sup>による治療参加



## AD診断・治療の一般化

\*1 Primary Care Physician \*2 Source: ZS Market Map 2020 \*3 Neurology Account Specialist: 神経領域スペシャリストとして、レケンビの製品価値に関する情報提供を担当

\*4 Blood-based biomarker \*5 In Vitro Diagnosis \*6 Subcutaneous Formulation with Auto Injector

# 日本 レケンビ

## 診療体制とレケンビによる治療価値が定着しデマンド拡大期へ

### 安全性情報と治療価値の表出化

安全性情報の整備と治療効果に関する情報の表出化

#### 速やかな診断・治療 パスウェイの構築

全例調査や最適使用推進ガイドライン  
によって、一定のパスウェイモデルが  
全国で構築

#### 診療連携体制の構築

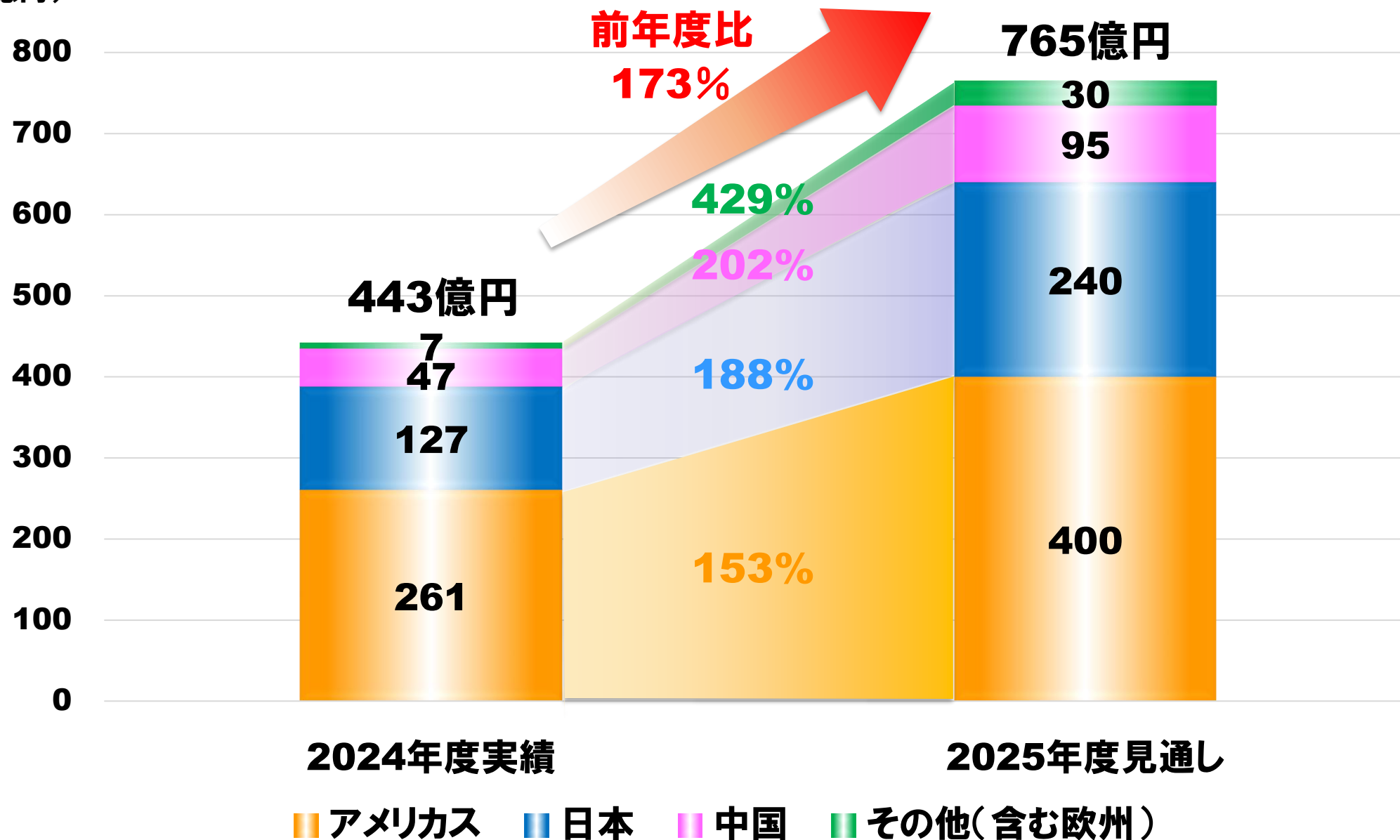
初期導入施設とフォローアップ施設の  
連携が各医療圏において進行、  
認知症を早期診断・治療できる体制が  
全国で整備

### AD研究の歴史と強固なネットワーク

認知症専門医師がアリセプト上市以来、約四半世紀  
学会・研究会を通じAD治療について  
多面的かつ継続的に議論

# レケンビ 2025年度売上収益見通し 765億円(グローバル)

(億円)



# レケンビはブロックバスターへの道を歩んでいる

## フル年度2年目でのグローバル 500MUSD超の売上

**グローバルな承認取得**  
米・日・中・欧をはじめ44カ国

**有効性と安全性の確立**  
長期投与、早期投与開始、  
**Gap Period** の各データ、  
**ARIA** リアルワールドデータ

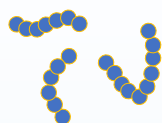
**明確な投与レジメンと  
投与方法の更なる進化**  
**IV Maintenance、  
SC-AI**

**適応の拡大**  
**Preclinical AD**

# E2814: 孤発性早期ADを対象とするフェーズII試験が進行中

タウ伝播種であるMTBR<sup>\*1</sup>-tauを捕捉し、レカネマブ併用により早期から後期に渡る全AD病理ステージの進展を抑制する

**103試験: Alzheimer's Associationが発表した改訂クライテリア<sup>\*2</sup>指定のDIAD<sup>\*4</sup> 複数のタウ病理関連バイオマーカーを評価し、薬力学的な効果確認<sup>\*3</sup>**



Aβプロトフィブリル

**T1<sup>\*5</sup>バイオマーカーである  
p-tau217が減少<sup>\*6</sup>**

**T2<sup>\*5</sup>バイオマーカーである  
MTBR-tau243減少<sup>\*3</sup>**

**早期タウ病理 (T1) (タウカスケード) 後期タウ病理 (T2)**



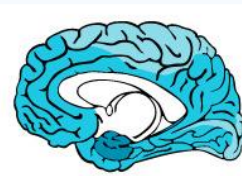
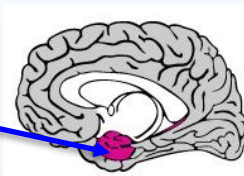
タウリン酸化



タウ凝集・  
神経原線維変化



MTBR-tau伝播



**E2814**

## 202試験(レカネマブ併用)

NCT06602258

**目的: 孤発性のEarly ADを対象とし、  
MOA<sup>\*7</sup>と用量反応性を確認する  
POC<sup>\*8</sup>試験**

試験デザインの特徴:

- ・ バイオマーカーアルゴリズムによる、正確な対象患者のスクリーニング
- ・ MTBR-tau243とタウPETによる治療仮説の検証
- ・ レケンビとE2814の18カ月の併用投与

評価項目(18カ月投与時点):

- ・ CSF MTBR-tau243、Tau PETの変化量
- ・ その他のAD関連バイオマーカー
- ・ 臨床症状
- ・ 安全性

**2025年度LPI<sup>\*9</sup>達成予定**

\*1 Microtubule binding region \*2 Alzheimer's Dement. 2024 Aug;20 (8) :5143-5169 \*3 第17回 Clinical Trials on Alzheimer's Disease (CTAD, 2024年10月29-11月1日, Madrid, Spain)

\*4 Dominantly inherited Alzheimer's disease \*5 T1はADステージングにおいて早期に変化する体液中のタウバイオマーカー、T2はADステージングにおいて後期に変化し、tau-PETと相関する体液中のタウバイオマーカー

\*6 AIC2024 Perspectives Session, Christopher van Dyck \*7 Mode of Action \*8 Proof of Concept \*9 Last Patient In

# E2086:オレキシン2受容体(OX2R)\*<sup>1</sup>選択的アゴニスト ナルコレプシー対象の臨床開発が順調に進行

- ・ナルコレプシー:オレキシンシグナルが減少し、覚醒中枢の活動が弱まり、日中の過度な眠気を特徴とする睡眠障害
- ・オレキシン2受容体アゴニスト:オレキシン神経系を活性化することにより、覚醒中枢を活性化、睡眠中枢を不活性化

## E2086の特徴

- ・25万化合物の化合物ライブラリーを用いHTS\*<sup>2</sup>から真のアゴニストとして1化合物を同定
- ・ヒット化合物からワールドクラスのケミストリー力で、1万倍以上活性が向上したユニークな構造を有するE2086を創出
- ・ナルコレプシー治療に適した薬物動態プロファイルを有しており、一日一回投与で適切な効果が発現することを期待

**POM\*<sup>3</sup>試験(101試験):**ナルコレプシータイプⅠの患者様を対象にしたプラセボおよび実薬対照比較試験

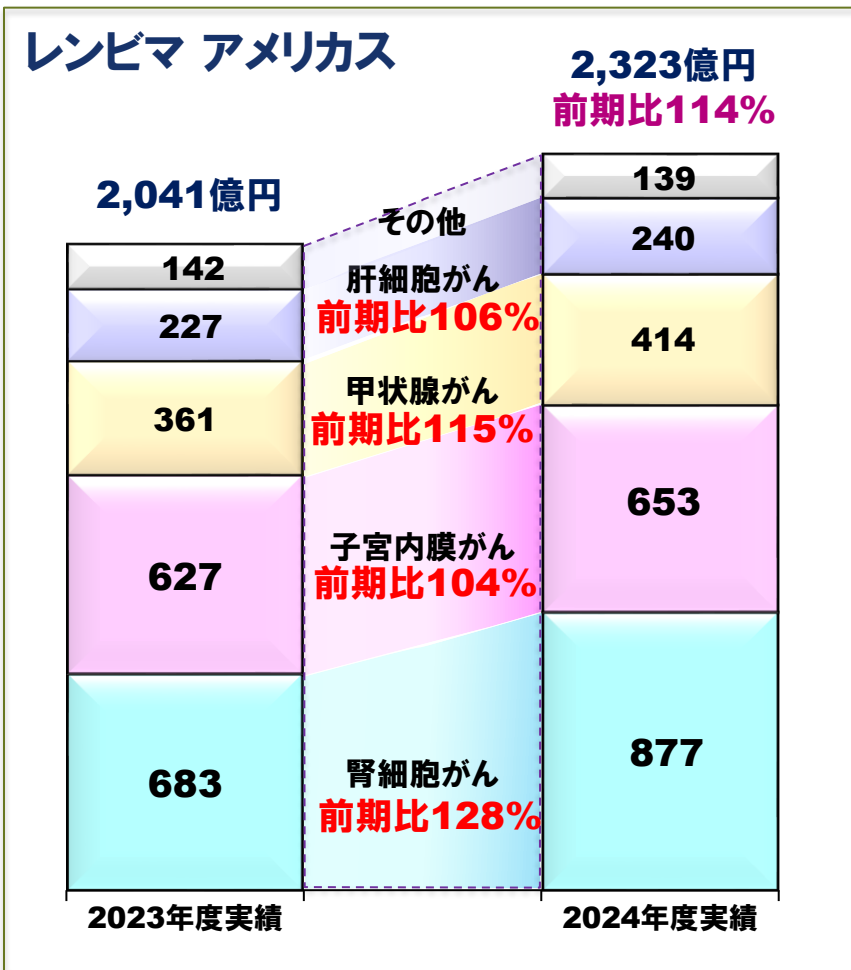
- ・日中の過度の眠気(EDS\*<sup>4</sup>)に対する有効性、安全性、忍容性の確認、用量反応性の検討、POMの確認

## POM試験トップラインを2025年度上期中に取得

# レンビマ：グローバルにTKI<sup>\*1</sup>のバックボーンセラピー

## 適応別売上収益の推移<sup>\*7</sup>（億円）

- 10周年を迎え、50万人以上の患者様に投与
- 2024年度 グローバル売上収益 3,285億円（前期比110%）
  - アメリカス売上収益 2,323億円（前期比114%）  
米国ではDTC<sup>\*2</sup>，HCC<sup>\*3</sup>，EC<sup>\*4</sup>，RCC<sup>\*5</sup>の全適応で成長
  - オムニチャネルプラットフォームとAI<sup>\*6</sup>モデリングの活用が売上に大きく貢献
- 2025年度 グローバル売上収益見通し 3,120億円



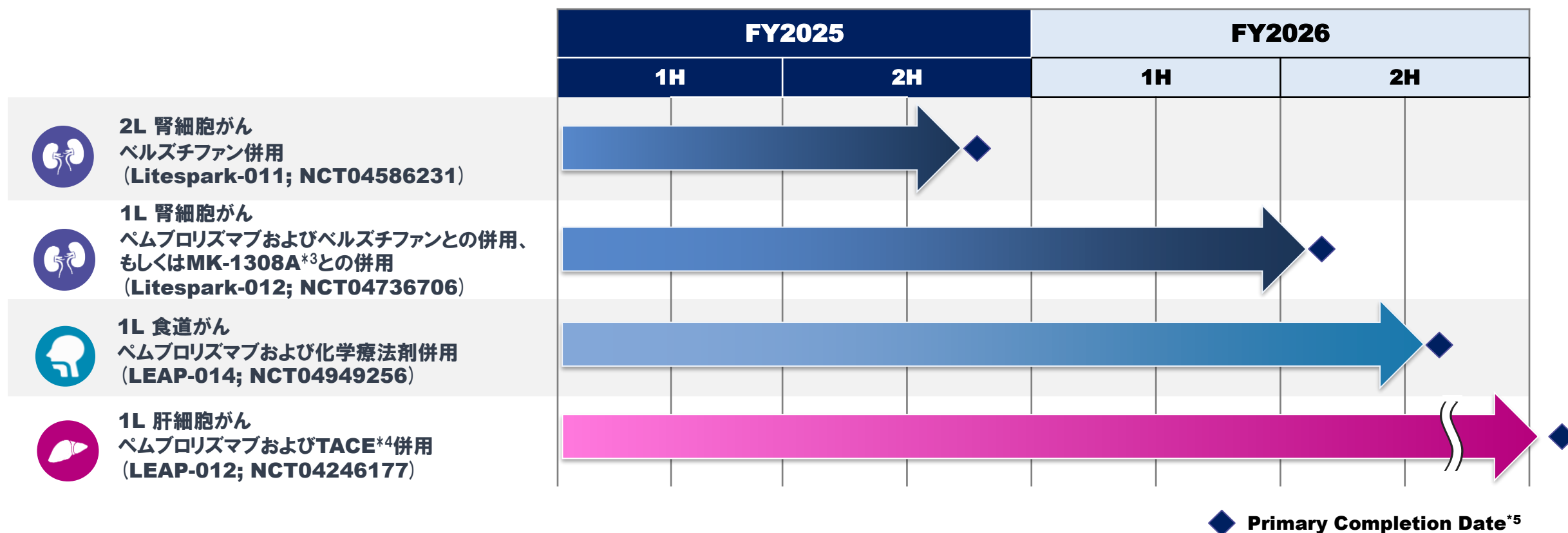
全適応がん種で売上拡大

\*1 Tyrosine Kinase Inhibitor（チロシンキナーゼ阻害剤）\*2 Differentiated Thyroid Carcinoma（分化型甲状腺がん）\*3 Hepatocellular Carcinoma（肝細胞がん）\*4 Endometrial Carcinoma（子宮内膜がん）  
\*5 Renal Cell Carcinoma（腎細胞がん）\*6 Artificial Intelligence \*7 各適応症の売上収益は社内推計

# レンビマ：バックボーンセラピーとしてのさらなる拡大

## 適応追加活発化

**LEAP、LITESPARK 4試験においてLPI\*<sup>1</sup>達成済  
早期承認申請をめざす\*<sup>2</sup>**



\*1 Last Patient In \*2 直近の中間解析結果を元に承認申請を行うことになった場合 \*3 ペムブロリズマブとクアボニリマブの配合剤 \*4 Transcatheter Arterial Chemo-Embolization (肝動脈化学塞栓術) \*5 試験の主たる完了日 (Clinicaltrials.gov) LEAP-012については、2028年6月

# 中期目標達成に向け最適なコマーシャル体制を追求

|              | 2024年度                                                                                                                                                                                             | 2025年度                                                                 |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 組織体制<br>の再構築 | <b>アメリカス：構造改革</b><br>レケンビ、レンビマ両製品の成長ステージを踏まえ、営業部門やメディカル部門の機能や体制を最適化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業部門などにおける間接組織において、ニューロロジーとオンコロジーの重複機能の解消を中心とした効率化</li> <li>・ 管理部門における人員削減</li> </ul> |                                                                        |
|              |                                                                                                                                                                                                    | 構造改革による固定費の最適化に続き、変動費におけるパートナーとの重複活動の解消などを中心とした効率化                     |
|              |                                                                                                                                                                                                    | <b>EMEA：組織改編</b><br>レケンビ上市を見据え優先的なリソース投入を実現するための組織改編を企画                |
|              | <b>中国：構造改革</b><br>AD領域に優先的なリソースを投入のため、パリエットの権利導出と関連領域の統廃合                                                                                                                                          |                                                                        |
|              | <b>EAGS：構造改革</b><br>インドネシアにおけるリソース配分の最適化を企画し、プライマリケア領域の要員の見直し                                                                                                                                      |                                                                        |
|              |                                                                                                                                                                                                    | <b>ヘッドクォーター組織（コマーシャル/ メディカル）：組織改編</b><br>グローバルとリージョンでの重複機能の解消を中心とした効率化 |

**2027年度に300億円の収益改善**

# 新たな研究開発体制とサプライチェーンの最適化により 中期目標達成をめざす

～2024年度

2025年度

## 研究開発 費用の 最適化

**DHBL\***体制の刷新:トランスレーショナル研究組織(最先端分子プロファイリング技術)が繋ぐ探索・臨床の一体化

直接研究開発費への優先的なリソース配分を  
企図した米国の研究所や  
臨床組織の統廃合の実施

エーザイだけが獲得し得る新規ヒューマンバイオロジー情報に基づく  
仮説立案と検証により、開発期間の短縮と成功確度の向上

PK/PDモデリングなどの臨床研究における高度な予測技術  
による臨床研究期間の短縮

新リーダーシップの下、Go/NoGo意思決定を鮮明にし  
優先プロジェクトへリソースを集中する

## 主力品の 安定供給 と 原価低減

### サプライチェーン体制の改善

安定供給とコスト低減を企図し、レンビマ、  
デエビゴの原薬製造、レケンビの製剤製造に  
おいて社内工場とともにCMOの活用

急激な需要増に対する万全な安定供給体制確立のため、  
デエビゴの原薬、製剤製造における海外自社工場の追加活用

レケンビの原薬製造における、Biogen 米国工場の活用拡大、  
包装工程における欧州、中国の自社工場の活用

**研究開発の確度向上と期間短縮を実現し資源投入の効率化を果たす  
最適なサプライチェーンの構築による原価低減をめざす**

# 5年間の抗Aβ抗体薬への経営資源投入 —累計約3,700億円\*1—

単位:億円

1,000

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

2025年度  
計画

2026年度

500

0

研究開発費

販売管理費

営業損益影響

エーザイがADという現代社会でもっとも困難な疾患に根本原因に関わる薬剤を導入し、  
グローバルに患者様貢献を果たすための資源投入、2026年度より収益貢献\*2

# 2025年度 連結業績見通し (IFRS)

## 構造改革の進展と研究開発費、原価の効率化に取り組み 2026年度 ROE8%レベルに向けた基盤を構築する

| (億円)           | 2024年度 |       | 2025年度 |       |       |
|----------------|--------|-------|--------|-------|-------|
|                | 実績     | 売上比   | 見通し    | 売上比   | 前期比   |
| 売上収益           | 7,894  | 100.0 | 7,900  | 100.0 | 100.1 |
| 医薬品事業 売上収益     | 7,490  | 94.9  | 7,545  | 95.5  | 100.7 |
| その他事業 売上収益     | 404    | 5.1   | 355    | 4.5   | 87.9  |
| 売上原価           | 1,688  | 21.4  | 1,825  | 23.1  | 108.1 |
| 売上総利益          | 6,206  | 78.6  | 6,075  | 76.9  | 97.9  |
| 研究開発費          | 1,716  | 21.7  | 1,665  | 21.1  | 97.0  |
| 販売管理費          | 4,080  | 51.7  | 3,960  | 50.1  | 97.1  |
| その他の損益         | 134    | 1.7   | 95     | 1.2   | 70.9  |
| 費用合計*1         | 5,662  | 71.7  | 5,530  | 70.0  | 97.7  |
| 営業利益           | 544    | 6.9   | 545    | 6.9   | 100.2 |
| 当期利益           | 481    | 6.1   | 435    | 5.5   | 90.5  |
| 当期利益(親会社所有者帰属) | 464    | 5.9   | 415    | 5.3   | 89.4  |
| EPS(円)         | 163.76 |       | 147.20 |       |       |
| ROE(%)         | 5.4    |       | 5.0    |       |       |
| DOE(%)         | 5.3    |       | 5.4    |       |       |
| 配当金(円)         | 160    |       | 160    |       |       |

配当支払いは毎年の取締役会決議を前提とする

2024年度期中平均レート 米ドル: 152.57円、ユーロ: 163.74円、英ポンド: 194.61円、人民元: 21.10円

2025年度期中平均予想レート 米ドル: 148.00円、ユーロ: 157.00円、英ポンド: 188.00円、人民元: 20.80円

\*1 研究開発費＋販売管理費－その他の損益

**2024年度はレケンビビジネスへの積極的な資源投入を行うとともに  
後続の神経領域パイプラインの進展に注力した。  
その中で、主力グローバル品の伸長により、増収増益を達成した。**

**欧州での承認取得により  
レケンビビジネスは米日中欧の主要リージョン全てで開始され、  
一部リージョンでデマンド拡大期に入る。**

**レケンビビジネスの収益は2025年度に改善し、  
2026年度に黒字転換をめざす。**

**2025年度は、レケンビ最大化へ資源投入を堅持しつつ、  
リージョンにおける構造改革を継続するとともに、  
イノベーション創出を加速化し、  
グローバル サプライチェーンの強化をはかる。**

## 参考資料

# 連結損益計算書



| (億円、%)             | 2023年度 |       | 2024年度 |       |     |       |     |       | 2025年度 |     |
|--------------------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|-----|-------|--------|-----|
|                    | 4-3月実績 | 売上比   | 4-3月実績 | 売上比   | 前期比 | 通期見通し | 前期比 | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 売上収益               | 7,418  | 100.0 | 7,894  | 100.0 | 106 | 7,540 | 102 | 104.7 | 7,900  | 100 |
| 医薬品事業 売上収益         | 6,915  | 93.2  | 7,490  | 94.9  | 108 | 7,245 | 105 | 103.4 | 7,545  | 101 |
| その他事業 売上収益         | 503    | 6.8   | 404    | 5.1   | 80  | 295   | 59  | 136.8 | 355    | 88  |
| 売上原価               | 1,553  | 20.9  | 1,688  | 21.4  | 109 | 1,705 | 110 | 99.0  | 1,825  | 108 |
| 売上総利益              | 5,864  | 79.1  | 6,206  | 78.6  | 106 | 5,835 | 100 | 106.4 | 6,075  | 98  |
| 費用合計 <sup>*1</sup> | 5,330  | 71.9  | 5,662  | 71.7  | 106 | 5,300 | 99  | 106.8 | 5,530  | 98  |
| 研究開発費              | 1,690  | 22.8  | 1,716  | 21.7  | 102 | 1,675 | 99  | 102.5 | 1,665  | 97  |
| 販売管理費              | 3,744  | 50.5  | 4,080  | 51.7  | 109 | 3,825 | 102 | 106.7 | 3,960  | 97  |
| その他の損益             | 104    | 1.4   | 134    | 1.7   | 128 | 200   | 192 | 67.0  | 95     | 71  |
| 営業利益               | 534    | 7.2   | 544    | 6.9   | 102 | 535   | 100 | 101.6 | 545    | 100 |
| 当期利益               | 438    | 5.9   | 481    | 6.1   | 110 | 445   | 102 | 108.0 | 435    | 91  |
| 当期利益(親会社所有者帰属)     | 424    | 5.7   | 464    | 5.9   | 109 | 430   | 101 | 108.0 | 415    | 89  |

2024年度期中平均レート    米ドル: 152.57円(前期変動率+5.5%)、ユーロ: 163.74円(同+4.4%)、英ポンド: 194.61円(同+7.1%)、人民元: 21.10(同+4.8%)  
2025年度期中平均予想レート    米ドル: 148.00円、ユーロ: 157.00円、英ポンド: 188.00円、人民元: 20.80円  
<sup>\*1</sup> 研究開発費+販売管理費-その他の損益

# セグメント売上収益



| (億円、%)                         | 2023年度       |       | 2024年度       |       |     |       |     |       | 2025年度 |     |
|--------------------------------|--------------|-------|--------------|-------|-----|-------|-----|-------|--------|-----|
|                                | 4-3月<br>売上収益 | 構成比   | 4-3月<br>売上収益 | 構成比   | 前期比 | 通期見通し | 前期比 | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 医薬品事業計                         | 6,915        | 93.2  | 7,490        | 94.9  | 108 | 7,245 | 105 | 103.4 | 7,545  | 101 |
| 日本                             | 2,169        | 29.2  | 2,163        | 27.4  | 100 | 2,180 | 100 | 99.2  | 2,255  | 104 |
| アメリカス                          | 2,324        | 31.3  | 2,783        | 35.2  | 120 | 2,665 | 115 | 104.4 | 2,730  | 98  |
| 中国                             | 1,119        | 15.1  | 1,155        | 14.6  | 103 | 1,090 | 97  | 106.0 | 1,240  | 107 |
| EMEA                           | 760          | 10.2  | 794          | 10.1  | 104 | 745   | 98  | 106.6 | 710    | 89  |
| イーストアジア・グローバルサウス <sup>*1</sup> | 542          | 7.3   | 596          | 7.5   | 110 | 565   | 104 | 105.4 | 610    | 102 |
| その他事業 <sup>*2</sup>            | 503          | 6.8   | 404          | 5.1   | 80  | 295   | 59  | 136.8 | 355    | 88  |
| 連結売上収益                         | 7,418        | 100.0 | 7,894        | 100.0 | 106 | 7,540 | 102 | 104.7 | 7,900  | 100 |

外部顧客に対する売上収益を示す

<sup>\*1</sup> 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしている。なお、アジア・ラテンアメリカ医薬品事業の管轄エリアがアジア(日本、中国を除く)、中南米、南アフリカであった状況に鑑み、2024年10月1日より、イーストアジア・グローバルサウス医薬品事業に名称変更した。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はない。

<sup>\*2</sup> 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業

# セグメント利益



| (億円、%)                   | 2023年度          |       |      | 2024年度          |       |      |     |
|--------------------------|-----------------|-------|------|-----------------|-------|------|-----|
|                          | 4-3月<br>セグメント利益 | 構成比   | 利益率  | 4-3月<br>セグメント利益 | 構成比   | 利益率  | 前期比 |
| 医薬品事業計                   | 3,242           | 89.0  | 46.9 | 3,505           | 92.2  | 46.8 | 108 |
| 日本                       | 710             | 19.5  | 32.7 | 717             | 18.9  | 33.2 | 101 |
| アメリカス                    | 1,382           | 37.9  | 59.5 | 1,583           | 41.6  | 56.9 | 115 |
| 中国                       | 566             | 15.5  | 50.6 | 572             | 15.0  | 49.5 | 101 |
| EMEA                     | 356             | 9.8   | 46.9 | 359             | 9.5   | 45.3 | 101 |
| イーストアジア・グローバルサウス         | 228             | 6.3   | 42.0 | 274             | 7.2   | 46.0 | 120 |
| その他事業 <sup>*1</sup>      | 402             | 11.0  | 79.9 | 296             | 7.8   | 73.4 | 74  |
| セグメント利益計                 | 3,644           | 100.0 | 49.1 | 3,801           | 100.0 | 48.2 | 104 |
| 研究開発費 <sup>*2</sup>      | -1,496          | —     | —    | -1,503          | —     | —    | 100 |
| 親会社の本社管理費等 <sup>*3</sup> | -1,614          | —     | —    | -1,754          | —     | —    | 109 |
| 連結営業利益                   | 534             | —     | 7.2  | 544             | —     | 6.9  | 102 |

2024年度より、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映している。前年度のセグメント情報は、当該変更を反映している。

\*1 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業 \*2 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費

\*3 パートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含む。当社グループがMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAに支払う抗がん剤「レンビマ」の利益折半費用（2023年度：1,416億円、2024年度：1,542億円）

# 主要品目の売上収益



| (億円、%)<br>[ ]内は現地通貨ベース | 2023年度     |       | 2024年度     |       |       |         |       |      |       | 2025年度 |     |
|------------------------|------------|-------|------------|-------|-------|---------|-------|------|-------|--------|-----|
|                        | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 前期比   |         | 通期見通し | 前期比  | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| レンビマ                   | 2,976      | 100.0 | 3,285      | 100.0 | 110   | [105]   | 3,045 | 102  | 107.9 | 3,120  | 95  |
| 日本                     | 155        | 5.2   | 139        | 4.2   | 89    | [89]    | 150   | 97   | 92.6  | 130    | 94  |
| アメリカス                  | 2,041      | 68.6  | 2,323      | 70.7  | 114   | [108]   | 2,120 | 104  | 109.6 | 2,175  | 94  |
| 中国                     | 269        | 9.0   | 248        | 7.5   | 92    | [88]    | 240   | 89   | 103.2 | 250    | 101 |
| EMEA                   | 382        | 12.8  | 419        | 12.8  | 110   | [105]   | 395   | 103  | 106.1 | 410    | 98  |
| イーストアジア・グローバルサウス       | 130        | 4.4   | 156        | 4.8   | 121   | [118]   | 140   | 108  | 111.8 | 155    | 99  |
| レケンビ                   | 43         | 100.0 | 443        | 100.0 | 1041  | [1003]  | 425   | 999  | 104.2 | 765    | 173 |
| 日本                     | 4          | 8.2   | 127        | 28.8  | 3642  | [3642]  | 120   | 3428 | 106.2 | 240    | 188 |
| アメリカス                  | 38         | 90.3  | 261        | 59.0  | 680   | [645]   | 265   | 690  | 98.6  | 400    | 153 |
| 中国                     | 0          | 0.7   | 47         | 10.6  | 15980 | [15247] | —     | —    | —     | 95     | 202 |
| デエビゴ                   | 418        | 100.0 | 538        | 100.0 | 129   | [128]   | 520   | 124  | 103.4 | 580    | 108 |
| 日本                     | 355        | 85.0  | 445        | 82.8  | 125   | [125]   | 440   | 124  | 101.1 | 460    | 103 |
| アメリカス                  | 51         | 12.3  | 68         | 12.7  | 133   | [128]   | 65    | 126  | 105.1 | 90     | 132 |
| イーストアジア・グローバルサウス       | 8          | 1.9   | 18         | 3.4   | 228   | [218]   | —     | —    | —     | —      | —   |
| フィコンパ                  | 259        | 100.0 | 298        | 100.0 | 115   | [112]   | 270   | 104  | 110.5 | 315    | 106 |
| 日本                     | 69         | 26.8  | 77         | 25.9  | 111   | [111]   | 80    | 115  | 96.8  | 90     | 116 |
| 中国                     | 35         | 13.6  | 42         | 14.0  | 119   | [113]   | 35    | 100  | 119.1 | 50     | 120 |
| EMEA                   | 128        | 49.6  | 157        | 52.6  | 122   | [117]   | 135   | 105  | 116.2 | 155    | 99  |
| イーストアジア・グローバルサウス       | 19         | 7.3   | 21         | 6.9   | 109   | [107]   | 20    | 106  | 103.6 | 20     | 97  |

# 日本 医薬品事業の業績



| (億円、%)     | 2023年度     |       | 2024年度     |       |      |       |      |       | 2025年度 |     |
|------------|------------|-------|------------|-------|------|-------|------|-------|--------|-----|
|            | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 前期比  | 通期見通し | 前期比  | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 売上収益       | 2,169      | 100.0 | 2,163      | 100.0 | 100  | 2,180 | 100  | 99.2  | 2,255  | 104 |
| 医療用医薬品     | 1,943      | 89.5  | 1,938      | 89.6  | 100  | 1,955 | 101  | 99.1  | 2,025  | 104 |
| デエビゴ       | 355        | 16.4  | 445        | 20.6  | 125  | 440   | 124  | 101.1 | 460    | 103 |
| ジセレカ       | 126        | 5.8   | 148        | 6.8   | 117  | —     | —    | —     | —      | —   |
| レンビマ       | 155        | 7.2   | 139        | 6.4   | 89   | 150   | 97   | 92.6  | 130    | 94  |
| レケンビ       | 4          | 0.2   | 127        | 5.9   | 3642 | 120   | 3428 | 106.2 | 240    | 188 |
| メチコパール     | 95         | 4.4   | 86         | 4.0   | 90   | 85    | 90   | 100.8 | 86     | 100 |
| グーフィス*     | 70         | 3.2   | 78         | 3.6   | 112  | 75    | 108  | 104.3 | 85     | 109 |
| フィコンパ      | 69         | 3.2   | 77         | 3.6   | 111  | 80    | 115  | 96.8  | 90     | 116 |
| モビコール*     | 66         | 3.0   | 76         | 3.5   | 116  | 70    | 106  | 109.3 | 76     | 99  |
| エレンタール*    | 71         | 3.3   | 71         | 3.3   | 100  | 65    | 91   | 109.8 | 65     | 91  |
| ハラヴェン      | 79         | 3.7   | 69         | 3.2   | 87   | 70    | 88   | 99.0  | —      | —   |
| エクフィナ      | 58         | 2.7   | 63         | 2.9   | 110  | 70    | 121  | 90.4  | 67     | 106 |
| 一般用医薬品等    | 227        | 10.5  | 225        | 10.4  | 99   | 225   | 99   | 100.0 | 230    | 102 |
| チョコラBBグループ | 150        | 6.9   | 152        | 7.0   | 102  | 150   | 100  | 101.5 | 150    | 99  |
| セグメント利益    | 710        | 32.7  | 717        | 33.2  | 101  | —     | —    | —     | —      | —   |

\* EAファーマの取り扱い製品

# アメリカス 医薬品事業の業績



| (億円、%)<br>[ ]内は現地通貨ベース | 2023年度     |       | 2024年度     |       |           |       |     |       | 2025年度 |     |
|------------------------|------------|-------|------------|-------|-----------|-------|-----|-------|--------|-----|
|                        | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 前期比       | 通期見通し | 前期比 | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 売上収益                   | 2,324      | 100.0 | 2,783      | 100.0 | 120 [114] | 2,665 | 115 | 104.4 | 2,730  | 98  |
| レンビマ                   | 2,041      | 87.8  | 2,323      | 83.5  | 114 [108] | 2,120 | 104 | 109.6 | 2,175  | 94  |
| 米国                     | 2,025      | —     | 2,296      | —     | 113       | —     | —   | —     | —      | —   |
| 百万米ドル                  | 1,400      | —     | 1,505      | —     | 107       | —     | —   | —     | —      | —   |
| レケンビ                   | 38         | 1.7   | 261        | 9.4   | 680 [645] | 265   | 690 | 98.6  | 400    | 153 |
| 米国                     | 38         | —     | 261        | —     | 680       | —     | —   | —     | —      | —   |
| 百万米ドル                  | 27         | —     | 171        | —     | 645       | —     | —   | —     | —      | —   |
| ハラヴェン                  | 124        | 5.3   | 75         | 2.7   | 61 [57]   | —     | —   | —     | —      | —   |
| 米国                     | 121        | —     | 73         | —     | 60        | —     | —   | —     | —      | —   |
| 百万米ドル                  | 84         | —     | 48         | —     | 57        | —     | —   | —     | —      | —   |
| デエビゴ                   | 51         | 2.2   | 68         | 2.5   | 133 [128] | 65    | 126 | 105.1 | 90     | 132 |
| 米国                     | 26         | —     | 30         | —     | 114       | —     | —   | —     | —      | —   |
| 百万米ドル                  | 18         | —     | 20         | —     | 108       | —     | —   | —     | —      | —   |
| セグメント利益                | 1,382      | 59.5  | 1,583      | 56.9  | 115 [109] | —     | —   | —     | —      | —   |

# 中国 医薬品事業の業績



| (億円、%)<br>[ ] 内は現地通貨ベース | 2023年度     |       | 2024年度     |       |               |       |     |       | 2025年度 |     |
|-------------------------|------------|-------|------------|-------|---------------|-------|-----|-------|--------|-----|
|                         | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 前期比           | 通期見通し | 前期比 | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 売上収益                    | 1,119      | 100.0 | 1,155      | 100.0 | 103 [98]      | 1,090 | 97  | 106.0 | 1,240  | 107 |
| レンビマ                    | 269        | 24.0  | 248        | 21.4  | 92 [88]       | 240   | 89  | 103.2 | 250    | 101 |
| メリスロン                   | 132        | 11.8  | 142        | 12.3  | 107 [102]     | —     | —   | —     | —      | —   |
| メチコパール                  | 126        | 11.3  | 115        | 10.0  | 91 [87]       | —     | —   | —     | —      | —   |
| セルベックス                  | 73         | 6.5   | 86         | 7.4   | 118 [113]     | —     | —   | —     | —      | —   |
| アリセプト                   | 69         | 6.2   | 77         | 6.7   | 111 [106]     | —     | —   | —     | —      | —   |
| 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン     | 71         | 6.3   | 73         | 6.3   | 103 [99]      | —     | —   | —     | —      | —   |
| ミオナール                   | 62         | 5.5   | 69         | 6.0   | 112 [107]     | —     | —   | —     | —      | —   |
| レケンビ                    | 0          | 0.0   | 47         | 4.1   | 15980 [15247] | —     | —   | —     | 95     | 202 |
| フィコンパ                   | 35         | 3.1   | 42         | 3.6   | 119 [113]     | 35    | 100 | 119.1 | 50     | 120 |
| パリエット                   | 82         | 7.4   | 39         | 3.4   | 47 [45]       | —     | —   | —     | —      | —   |
| ハラヴェン                   | 20         | 1.8   | 22         | 1.9   | 111 [106]     | —     | —   | —     | —      | —   |
| セグメント利益                 | 566        | 50.6  | 572        | 49.5  | 101 [95]      | —     | —   | —     | —      | —   |

# EMEA 医薬品事業の業績



| (億円、%)<br>[ ]内は現地通貨ベース | 2023年度     |       | 2024年度     |       |           |       |     |       | 2025年度 |     |
|------------------------|------------|-------|------------|-------|-----------|-------|-----|-------|--------|-----|
|                        | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 前期比       | 通期見通し | 前期比 | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 売上収益                   | 760        | 100.0 | 794        | 100.0 | 104 [100] | 745   | 98  | 106.6 | 710    | 89  |
| レンビマ/Kisplyx           | 382        | 50.2  | 419        | 52.8  | 110 [105] | 395   | 103 | 106.1 | 410    | 98  |
| フィコンパ                  | 128        | 16.9  | 157        | 19.8  | 122 [117] | 135   | 105 | 116.2 | 155    | 99  |
| ハラヴェン                  | 117        | 15.4  | 87         | 10.9  | 74 [71]   | —     | —   | —     | —      | —   |
| セグメント利益                | 356        | 46.9  | 359        | 45.3  | 101 [98]  | —     | —   | —     | —      | —   |

# イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業の業績



| (億円、%)<br>[ ]内は現地通貨ベース | 2023年度     |       | 2024年度     |       |           |       |     |       | 2025年度 |     |
|------------------------|------------|-------|------------|-------|-----------|-------|-----|-------|--------|-----|
|                        | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 4-3月<br>実績 | 売上比   | 前期比       | 通期見通し | 前期比 | 進捗率   | 通期見通し  | 前期比 |
| 売上収益                   | 542        | 100.0 | 596        | 100.0 | 110 [107] | 565   | 104 | 105.4 | 610    | 102 |
| レンビマ                   | 130        | 23.9  | 156        | 26.3  | 121 [118] | 140   | 108 | 111.8 | 155    | 99  |
| アリセプト                  | 135        | 24.9  | 142        | 23.9  | 105 [104] | —     | —   | —     | —      | —   |
| メチコパール                 | 44         | 8.0   | 43         | 7.2   | 99 [96]   | —     | —   | —     | —      | —   |
| パリエット                  | 50         | 9.3   | 42         | 7.0   | 83 [81]   | —     | —   | —     | —      | —   |
| ハラヴェン                  | 35         | 6.4   | 35         | 5.9   | 102 [100] | —     | —   | —     | —      | —   |
| フィコンパ                  | 19         | 3.5   | 21         | 3.5   | 109 [107] | 20    | 106 | 103.6 | 20     | 97  |
| セグメント利益                | 228        | 42.0  | 274        | 46.0  | 120 [117] | —     | —   | —     | —      | —   |

# Strong Balance Sheetによる成長投資と安定配当の両立



|                           | 2025年3月末 | 前期末差   |
|---------------------------|----------|--------|
| Net cash <sup>*1</sup>    | 1,006億円  | -681億円 |
| Net DER <sup>*2</sup> (倍) | -0.12    | +0.07  |
| 株主資本(親会社持分)               | 8,414億円  | -342億円 |
| 親会社所有者帰属持分比率<br>(自己資本比率)  | 60.7%    | -2.1%  |



ネットキャッシュポジションを  
引き続き確保

成長投資と  
安定配当の両立

複数年ベースでフリー・キャッシュ・フロー  
の範囲内で配当

財務の健全性に基づき、成長投資と安定配当を堅持  
レケンビを軸とする成長の中で、中長期的な株主価値の最大化をめざす

配当支払いは毎年の取締役会決議を前提とする

\*1 Net cash=現金・有価証券(現金及び現金同等物+3カ月超預金等+親会社保有投資有価証券)-有利子負債(社債及び借入金)

\*2 Net DER: Net Debt Equity Ratio=(有利子負債(借入金)-現金及び現金同等物-3カ月超預金等-親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

2025年2月以降の進捗

| 1. ATN*1 包括的ADパイプライン |                                                       |  | 適応症                                          | ClinicalTrials.gov ID | 非臨床                                                                   | フェーズⅠ | フェーズⅡ | フェーズⅢ | 申請 | 承認・上市 |
|----------------------|-------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|----|-------|
| A                    | Lecanemab*2<br>(抗Aβ*3プロトフィブリル抗体)                      |  | 早期AD (米国、日本、中国)                              |                       | 米国:2023年7月 フル承認・上市、日本:2023年9月 承認、2023年12月 上市、中国:2024年1月 承認、2024年6月 上市 |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | 早期AD (欧州)                                    |                       | 2025年4月 承認                                                            |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | AHEAD 3-45*4<br>プレクリニカルAD                    | NCT04468659           | フェーズⅢ 進行中 LPI*5達成                                                     |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | Ⅳ 維持療法 (米国)                                  |                       | 2025年1月 承認・上市                                                         |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | SC-AI*6 維持療法 (米国)                            | NCT03887455           | 2024年10月 段階的申請終了 (BLA*7) PDUFA*8 2025年8月                              |       |       |       |    |       |
| T                    | E2814*9<br>(抗MTBR*10タウ抗体)                             |  | Tau NexGen*11 DIAD*12対象<br>Lecanemabとの併用レジメン | NCT05269394           | フェーズⅡ/Ⅲ 進行中                                                           |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | 103試験 DIAD対象                                 | NCT04971733           | フェーズⅠ b/Ⅱ 試験終了                                                        |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | 202試験 sAD*13対象<br>Lecanemabとの併用レジメン          | NCT06602258           | フェーズⅡ 進行中                                                             |       |       |       |    |       |
| N                    | E2511<br>(TrkA*14統合シナプス再生剤)<br>E2025<br>(抗EphA4*16抗体) |  | AD                                           | NCT05147337           | フェーズⅠ (MAD*15) 進行中                                                    |       |       |       |    |       |
|                      |                                                       |  | AD                                           | NCT05726851           | フェーズⅠ 進行中                                                             |       |       |       |    |       |

| 2. オレキシンプラットフォーム             |  |  | 適応症     | ClinicalTrials.gov ID | 非臨床         | フェーズⅠ | フェーズⅡ | フェーズⅢ | 申請 | 承認・上市 |
|------------------------------|--|--|---------|-----------------------|-------------|-------|-------|-------|----|-------|
| E2086<br>(オレキシン2受容体選択的アゴニスト) |  |  | ナルコレプシー | NCT06462404           | フェーズⅠ b 進行中 |       |       |       |    |       |

| 3. 自社創製脳移行型バイスペシフィック抗体 |  |  | 適応症               | ClinicalTrials.gov ID | 非臨床 | フェーズⅠ | フェーズⅡ | フェーズⅢ | 申請 | 承認・上市 |
|------------------------|--|--|-------------------|-----------------------|-----|-------|-------|-------|----|-------|
| Evolpath™              |  |  | Neurodegeneration |                       |     |       |       |       |    |       |

このパイプライン表は、2025年3月25、26日に開催した、記者懇談会・インフォメーションミーティング開示スライドを基本に作成

\*1 ATN: Amyloid, Tau, Neurodegeneration \*2 バイオジェンとの共同開発品でバイオアークティックとエーザイの共同研究から得られたアルツハイマー病に対する抗体。製品名レケンビ \*3 アミロイドベータ  
\*4 ACTC (Alzheimer’s Clinical Trials Consortium)と実施 \*5 Last Patient In \*6 Subcutaneous formulation with auto injector \*7 Biologics License Applications \*8 Prescription Drug User Fee Act  
\*9 英国のユニバーシティ カレッジ ロンドンとの共同研究 \*10 Microtubule binding region \*11 優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIAN-TU)が実施するDIADに対する臨床試験  
\*12 Dominantly inherited Alzheimer’s disease \*13 sporadic AD \*14 tropomyosin receptor kinase \*15 A Multiple Ascending Dose \*16 Erythropoietin-producing hepatocellular receptor A4

2025年2月以降の進捗

| パイプライン                                     | 適応症                                                | ClinicalTrials.gov ID | 非臨床               | フェーズⅠ | フェーズⅡ | フェーズⅢ | 申請 | 承認・上市 |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------|-------------------|-------|-------|-------|----|-------|
| レンビマ*1                                     | LEAP*2-012試験<br>肝細胞がん 1L*3<br>TACE*4およびキイトルーダ®との併用 | NCT04246177           | フェーズⅢ 進行中、LPI*5達成 |       |       |       |    |       |
|                                            | LEAP-014試験<br>食道がん 1L<br>化学療法剤およびキイトルーダ®との併用       | NCT04949256           | フェーズⅢ 進行中、LPI達成   |       |       |       |    |       |
| MORAb-202/FZEC*6<br>(エリブリン-抗葉酸受容体α抗体ADC*7) | 201試験<br>固形がん                                      | NCT04300556           | フェーズⅠb / Ⅱ 進行中    |       |       |       |    |       |
| E7386*8<br>(CBP*9/βカテニン阻害剤)                | 102試験<br>固形がん<br>レンビマとの併用                          | NCT04008797           | フェーズⅠb / Ⅱ 進行中    |       |       |       |    |       |
| スプライシングモジュレーター                             | 固形がん                                               |                       |                   |       |       |       |    |       |
| 標的タンパク質分解誘導剤                               | 固形がん                                               |                       |                   |       |       |       |    |       |

このパイプライン表は、2025年3月25、26日に開催した、記者懇談会・インフォメーションミーティング開示スライドを基本に作成

\*1 一般名:レンバチニブメシル酸塩、経口投与可能なエーザイ創製マルチキナーゼ阻害剤 \*2 LEAP試験:キイトルーダ®との併用療法:Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの子会社であるMSD International GmbHとの提携による臨床試験に基づき  
適応取得をめざす、キイトルーダ®はMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの子会社であるMerck Sharp & Dohme Corpの登録商標、一般名:ベムプロリズマブ \*3 1L:ファーストライン \*4 Transcatheter Arterial Chemo-Embolization  
\*5 Last Patient In \*6 一般名: farletuzumab ecteribulin \*7 Antibody Drug Conjugate 抗体薬物複合体 \*8 株式会社PRISM BioLabとの共同創出品 \*9 CREB-binding Protein

# 将来見通しに関する注意事項

- 本資料中の目標数値はあくまで中期的戦略、めざす方向性、ビジョン等を示すものであり正式な業績予想ではありません。正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく年次決算短信での開示をご参照ください。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基くものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。